現場からの声と仕事 ――
最初の連絡対応 ― 不安の中で支える最初の一歩

ご逝去直後、ご家族は深い悲しみと戸惑いの中にあり、何から手をつければよいのか分からない状況に置かれます。

そのような中で行う葬儀社への連絡は、単なる手配ではなく、その後の流れを大きく左右する重要な場面です。アンケートには、「何も分からない中で丁寧に教えてもらえた」「電話で落ち着いて話を聞いてもらえたことで安心できた」といった声が寄せられています。

当社では、この最初のやり取りを“ご家族を支える起点”と捉えています。状況を丁寧にお伺いしながら、今すぐ必要なことを整理してお伝えし、不安の中でも次の行動が分かるようサポートします。また、夜間や早朝であっても、正社員による24時間体制で対応しています。

この段階で大切なのは、情報を多く伝えることではなく、ご家族が理解できる形で必要なことを伝えることです。

混乱の中でも状況を受け止め、次の一歩に進めるよう支えること。

それが、私たちの現場における最初の仕事です。

セレモニー
オリジナルキャラクター

NEWS & TOPICS

セレモニー公式 LINE アカウント 友だち募集中！

最新情報や豪華プレゼント企画、葬儀に関するお役立ち情報、安心葬儀学習会のご案内などの情報を配信しています。

QRコードから友だち追加

一般の方は こちらから
@145opvky

パルシステム組合員の方は こちらから
@527ebjno

いざというときに慌てないために、葬儀・終活について考えてみませんか？
お電話・対面・オンライン・メールにて、気軽にご相談いただけます。

無料相談・ご依頼ダイヤル｜些細なことでもお気軽にお問い合わせください。

その想いをかたちに セレモ共済会® Ceremony 株式会社 セレモニー

0120-41-4021（ヨイ セレモニー）

24時間365日対応
通話・相談無料

セレモ共済会 株式会社セレモニー　〒164-0003 東京都中野区東中野3-17-15　セレモ共済会　検索

発行／株式会社セレモニー（コンテンツマーケティング部）〒164-0003 東京都中野区東中野3-17-15　TEL：03-3360-1851　E-mail：media@ceremo.jp　URL：https://ceremo.jp
CEREMO JOURNAL Vol.31 2026年10月 発行

セレモジャーナル

CEREMO JOURNAL

Vol.31
2026

戦国メディア見聞録～第九弾～
豊臣秀長を支えた妻、正室・慶

「秀長の妻・慶」の謎に迫る！

戦国時代の女性の役割とは。歴史の陰で輝いた女性の生き様

お葬儀 Q&A
葬儀の事前相談では、何を聞いておけばよいのでしょうか？

脳トレ
言葉の並び替え

Topics
現場からの声と仕事

ceremo.jp

秀長の妻・正室・慶

「秀長の妻・慶」の謎に迫る！

戦国時代の女性の役割とは。歴史の陰で輝いた女性の生き様

秀長の正妻であった慶（慈雲院）は、他の戦国時代の女性たちのように表舞台で華々しく活躍していたのでしょうか？戦国乱世から江戸時代初期という激動の時代を生き抜いた女性の生涯に迫ります。

出自と結婚

慶の生年やどのような家の出身であったかなど、その出自に関する正確な史料は少なく、「慶」の名は戒名に由来しています。
当時の武家の女性、特に傍流の家臣の妻や娘の出自が詳細に記録されることはほとんどありませんでした。そのため、慶がいつどのような経緯で秀長に嫁いだのか、明確にはわかっていません。

妻としての役割

正妻として、どのような日々を送っていたのでしょうか。史料はほとんど残されていませんが、大名の正妻は単に夫の身の回りの世話をするだけでなく、広大な屋敷の切り盛り、多くの侍女や家臣たちの管理、さらには他の大名家との交際や情報交換など、多岐にわたる重要な役割を担っていました。秀吉政権のナンバー2として秀吉の天下統一を支えていく中で、夫の秀長は大和大納言として大和・紀伊・和泉の3か国、100万石の大名となります。その夫・秀長を妻として内助の功で支え、豊臣家の一翼を担う大和大納言家の奥を取り仕切っていたと考えられます。慶が果たした役目は記録に残らずとも、決して小さくはなかったはずです。

夫婦の絆の証

夫の秀長の死後、高野山奥之院に築かれた秀長の供養塔の隣に、彼女自身の逆修供養塔の建立します。「逆修」とは、生前にあらかじめ自身の死後の冥福を祈って仏事を行い、供養塔などを建てることを指します。これらのことから、夫への深い愛情と追悼と信仰心の深さが垣間見えます。

秀長家の終焉

夫の秀長の死後、秀長の養子で甥にあたる豊臣秀保が広大な遺領と家督を継ぎました。しかし秀保は、わずか17歳という若さで朝鮮出兵の陣中で病没。これにより「大和大納言家」と称された豊臣秀長の家系は断絶してしまいました。豊臣秀長の正妻として夫の栄光の時代を共に過ごし、その死後は深い信仰心をもって菩提を弔い、激動の時代をしなやかに生き抜いた女性であったことが伺えます。

NEXT　次回の特集は

戦国メディア見聞録 〜第十弾〜　戦いにやぶれた武将たちの就活とは?

戦で敗北した戦国大名の家臣、武将たちはどのように再就職したのでしょうか？戦国時代の官職についても解説します。

お葬儀 Teacher
Mr.Takahashi

Q. 葬儀の事前相談では、何を聞いておけばよいのでしょうか？

A. 事前相談というと、「契約しなければいけないのでは」と不安に感じる方もいらっしゃいますが、まずは情報を知るための場として利用される方が多くいらっしゃいます。

確認しておきたいのは、大きく3つです。まずは費用の目安です。形式ごとの違いや、何が含まれているのかを把握しておくことで、いざという時の不安が軽減されます。次に、葬儀の流れです。ご逝去から葬儀までの動きを知っておくだけでも、落ち着いて対応しやすくなります。

そしてもう一つは、ご家族の意向です。「どのように見送りたいか」を事前に話し合っておくことで、迷いが少なくなります。
事前相談は、何かを決める場ではなく、「備えておく」ための時間です。気になることを整理しておくことで、いざという時に安心して判断することができます。

事前相談で
確認できる
内容はこちら

事前相談で確認する３つ

①費用

②流れ

③家族の意向

Brain Training

脳トレ

セレモニーの脳活で脳を活性化！

言葉の並び替え

難易度 ★★★☆☆

次の言葉を並び替えて、
正しい２つの文章を完成させてください。

に　お眠り　表します　の　ください　哀悼　意　安らか　より　心

【答え】①心より哀悼の意を表します②安らかにお眠りください

セレモジャーナル

CEREMO JOURNAL

Vol.31
2026

戦国メディア見聞録〜第九弾〜
豊臣秀長を支えた妻、正室・慶

「秀長の妻・慶」の謎に迫る！

戦国時代の女性の役割とは。歴史の陰で輝いた女性の生き様

お葬儀 Q&A
葬儀の事前相談では、
何を聞いておけばよいのでしょうか？

脳トレ
言葉の並び替え

Topics
現場からの声と仕事

ceremo.jp

秀長の妻
正室・慶

「秀長の妻・慶」の謎に迫る！

戦国時代の女性の役割とは。歴史の陰で輝いた女性の生き様

秀長の正妻であった慶（慈雲院）は、他の戦国時代の女性たちのように表舞台で華々しく活躍していたのでしょうか？戦国乱世から江戸時代初期という激動の時代を生き抜いた女性の生涯に迫ります。

出自と結婚

慶の生年やどのような家の出身であったかなど、その出自に関する正確な史料は少なく、「慶」の名は戒名に由来しています。
当時の武家の女性、特に傍流の家臣の妻や娘の出自が詳細に記録されることはほとんどありませんでした。そのため、慶がいつどのような経緯で秀長に嫁いだのか、明確にはわかっていません。

妻としての役割

正妻として、どのような日々を送っていたのでしょうか。史料はほとんど残されていませんが、大名の正妻は単に夫の身の回りの世話をするだけでなく、広大な屋敷の切り盛り、多くの侍女や家臣たちの管理、さらには他の大名家との交際や情報交換など、多岐にわたる重要な役割を担っていました。秀吉政権のナンバー2として秀吉の天下統一を支えていく中で、夫の秀長は大和大納言として大和・紀伊・和泉の3か国、100万石の大名となります。その夫・秀長を妻として内助の功で支え、豊臣家の一翼を担う大和大納言家の奥を取り仕切っていたと考えられます。慶が果たした役目は記録に残らずとも、決して小さくはなかったはずです。

夫婦の絆の証

夫の秀長の死後、高野山奥之院に築かれた秀長の供養塔の隣に、彼女自身の逆修供養塔の建立します。「逆修」とは、生前にあらかじめ自身の死後の冥福を祈って仏事を行い、供養塔などを建てることを指します。これらのことから、夫への深い愛情と追悼と信仰心の深さが垣間見えます。

秀長家の終焉

夫の秀長の死後、秀長の養子で甥にあたる豊臣秀保が広大な遺領と家督を継ぎました。しかし秀保は、わずか17歳という若さで朝鮮出兵の陣中で病没。これにより「大和大納言家」と称された豊臣秀長の家系は断絶してしまいました。豊臣秀長の正妻として夫の栄光の時代を共に過ごし、その死後は深い信仰心をもって菩提を弔い、激動の時代をしなやかに生き抜いた女性であったことが伺えます。

NEXT　次回の特集は

戦国メディア見聞録 ～第十弾～　戦いにやぶれた武将たちの就活とは?

戦で敗北した戦国大名の家臣、武将たちはどのように再就職したのでしょうか？戦国時代の官職についても解説します。